

歯学教育の改善・充実に 関する 調査研究協力者会議

令和元年度フォローアップ調査票(案)

大学名		
回答者	所属職名	
	氏名	
事務担当者連絡先	所属職名	
	氏名	
	電話番号	
	E-mail	

※各様式のセルの挿入・削除、文字の大きさの設定変更はしないでください。ただし、ページ割を調整いただければ、セルの高さを変更しても構いません。

※本調査票以外にも、毎年度実施している「歯学部(歯学科)における学生の状況等各種調査」の結果もフォローアップ調査に活用します。

※各調査項目における自由記載欄の回答については、5行程度を目安に記載してください。

大学名: _____

1. 歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第一次報告等に対する取組内容

【I. 歯科医師として必要な臨床能力の確保】

(1) 臨床実習終了時における到達目標の明確化	
①臨床実習の到達目標を明確にしていますか？(Y/N)	
②(①がYの場合)臨床実習の到達目標は、卒後臨床研修の到達目標を踏まえて定めていますか？(Y/N)	
②-1(②がYの場合)具体的な取組や工夫があれば記載してください。	
③各科目ごとの成績評価基準を明示していますか？(Y/N)	
(2) 診療参加型臨床実習の充実について	
①「歯学教育における診療参加型臨床実習実施のためのガイドラインー歯学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)準拠ー」(平成30年3月)(平成29年度大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業)を活用していますか？(Y/N)	
①-1(①がYの場合)具体的な活用例を(①がNの場合)は、活用していない理由を記載してください。	
②指導医等による臨床実習の評価について、連携ログブックまたはe-Logbookを活用していますか？(Y/N)	
②-1(②がNの場合)は、どのように臨床実習の評価をしているかを記載してください。	
③学生が自験を行うにあたり、学生は特定の患者を受け持っていますか？(Y/N)	
③-1(③がYの場合)具体的な取組や工夫があれば記載してください。	
③-2(③がNの場合)どのように学生に自験を行わせているか記載してください。	
④貴大学において学生に対する臨床実習に必要な患者数は十分に確保できていますか？(Y/N)	
④-1(④がYの場合)必要な患者数を確保するため、どのような取組を実施していますか？	
④-2(④がNの場合)必要な患者数を確保するため、どのような対策を実施していますか？	
④-3(④がNの場合)患者数が不足している中で、学生の臨床能力を担保するために、どのような取組を行っていますか？	
⑤永久歯の単純抜歯、コンポジットレジン修復、感染根管治療、クラウンによる補綴処置、可撤性義歯による簡単な欠損補綴処置等において、学生は最初から最後まで全てのステップを自験していますか？(Y/N)	
⑤-1(⑤がNの場合)どのように学生に自験を行わせているか記載してください。	

(3) 学生に係る臨床実習の実績					
	① 附属病院内の専用の臨床実習室(m ²)				
	② 附属病院内の専用のユニット数(台)				
	③ 臨床実習指導教員数(実習日1日当たり)(人)				
	④ 学生1人当たりの自験患者数(実習期間を通しての実人数)				
(4) 学生に係る臨床実習実施期間					
	① 開始年次及び開始月(年次・月)				
	② 終了年次及び終了月(年次・月)				
(5) モデル・コア・カリキュラムを踏まえた学生の臨床実習状況					
① 6年次学生数(人)					
②-1 モデル・コア・カリキュラム(G 臨床実習) 臨床実習の内容と分類 【実施している内容と学年全体の症例数】		I. 指導者のもと実践する (自験を求めるもの)	II. 指導者のもとでの実践が望まれる(自験不可の場合はシミュレーション等で補完)	III. 指導者の介助をする	IV. 指導者のもとで見学・体験することが望ましい
G-1 診療の基本	臨床診断・治療計画				
	病態写真・模型				
	診療録・処方箋				
G-2 基本的診察法	医療面接				
	バイタルサイン				
	頭頸部・口腔の診察				
	画像検査				
G-3 基本的臨床技能	臨床検査				
	共通				
	口腔外科系				
	保存系				
	補綴・リハビリ系				
	予防・指導系				
G-4 チーム医療・地域医療	小児・矯正系				
	高齢者・障害者				
②-2 モデル・コア・カリキュラム(G 臨床実習) 臨床実習の内容と分類 【実施していない内容】		I. 指導者のもと実践する (自験を求めるもの)	II. 指導者のもとでの実践が望まれる(自験不可の場合はシミュレーション等で補完)	III. 指導者の介助をする	IV. 指導者のもとで見学・体験することが望ましい
G-1 診療の基本	臨床診断・治療計画				
	病態写真・模型				
	診療録・処方箋				
	医療面接				

G-2 基本的診察法	バイタルサイン				
	頭頸部・口腔の診察				
	画像検査				
G-3 基本的臨床技能	臨床検査				
	共通				
	口腔外科系				
	保存系				
	補綴・リハビリ系				
	予防・指導系				
	小児・矯正系				
G-4チーム医療・地域医療	高齢者・障害者				

(6)臨床能力の評価の実施

①公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構(CATO)が行う診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(Post-CC OSCE)を令和2年度に臨床実習を開始する学年で実施する予定はありますか？(Y/N)	
①-1(①がNの場合)今後の実施予定時期について教えてください。	
②診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(Post-CC OSCE)以外に臨床実習後の臨床能力評価を実施していますか？(Y/N)	
②-1(②がYの場合)具体的な評価方法について記載してください。	
③共用試験CBTを進級判定に利用していますか？(Y/N)	
③-1(③がYの場合)一番最近に行った共用試験CBTの合格基準、受験者数、合格者数を記載してください。(追試験及び再試験も含む)	
④多様な症例の経験を通じて基本的な臨床能力を習得させる等の目的のため、臨床実習において学外の歯科医療機関を活用していますか？(Y/N)	
④-1(④がYの場合)具体的にどのように活用しているのか記載してください。	

(7)その他

上記回答以外に歯科医師として必要な臨床能力を確保するために特色ある優れた取組を行っている場合は、記載してください。

--

注1)実習期間や内容等については令和元年度に6年次に在籍している学生に係る履修状況を記載してください。

注2)診療参加型臨床実習の自験の定義については、添付資料「フォローアップ調査における診療参加型臨床実習に関する用語の定義」を参照してください。

注3) (5)モデル・コア・カリキュラムを踏まえた学生の臨床実習状況については、歯学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)P54～「臨床実習の内容と分類」に基づき、分類ごとに、②-1実施している内容と学年全体の症例数(口内法エックス線撮影20症例等)、②-2実施していない内容(永久歯の単純抜粋等)を記載してください。

【Ⅱ. 優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育の実施】

(1) 歯学教育全体を通した体系的な教育課程の編成に当たる専門教員の配置	
① 歯学教育全体を通した体系的な教育課程の編成に当たる専門の教員を配置していますか？(Y/N)	
①-1(①がYの場合)所属・職名や役割等を記載してください。	
(2) 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)の策定	
① 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を明確にしていますか？(Y/N)	
①-1(①がYの場合)教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を診療参加型臨床実習の位置づけも含めて記載してください。	
(3) 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)の策定	
① 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を明確にしていますか？(Y/N)	
①-1(①がYの場合)学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)と卒業認定の要件について記載してください。	
(4) 今後の歯学教育を取り巻く環境変化を見据えた特色ある教育の体系的な実施	
① 口腔と全身の関わりに関する教育を実施していますか？(Y/N)	
② 高齢者への対応に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
③ 全身疾患を有する者への対応に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
④ 予防歯学に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑤ 社会医学(※)に関する教育を実施していますか？(Y/N) ※生活環境と健康との関係を研究する分野(環境医学や公害医学などを含む)に関する教育。	
⑥ 在宅歯科医療に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑦ 地域包括ケアの構築に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑧ 口腔がんに関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑨ スポーツ歯科に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑩ 歯科法医学に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑪ 健康長寿社会の実現に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑫ 革新的な歯科医療機器の開発・普及等に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑬ 上記①～⑫の中で、特色ある優れた取組を行っている場合は具体的に記載してください。	
(5) その他	
上記回答以外に、優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育を実施するための特色ある優れた取組があれば具体的に記載してください。	

【Ⅲ. 歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者の確保】

(1) 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)の策定	
① 求める学生像や歯学教育を受けるために必要な水準等を示した入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)を明確にしていますか？(Y/N)	
①-1(①がYの場合)入学者受入れ方針(アドミッション・ポリシー)を記載してください。	
(2) 入学志願者の適性、目的意識、コミュニケーション能力等を見極める実効ある入試の更なる工夫	
① 面接の充実に取り組んでいますか？(Y/N)	
② 高等学校との連携を強化していますか？(Y/N)	
③ ボランティア活動など志願者の実績・経験に係る評価を行っていますか？(Y/N)	
④ 上記に記載した内容以外に、優れた資質能力を有する入学者の確保のための特色ある取組を行っている場合は具体的に記載してください。	
(3) 履修指導や学習支援の実施	
① 成績不振者へのきめ細かな履修指導や学習支援を実施していますか？(Y/N)	
①-1(①がYの場合)具体的な取組について記載してください。	
② 歯科医師としての適性等に欠ける者への対策を実施している場合は、具体的な取組について記載してください。	
(4) 学生の確保及び支援状況	
① 貴大学において入試の選抜機能が低下し優れた入学者の確保が困難な状況となっていると考えていますか？(Y/N)	
①-1(①がYの場合)どのような対策を実施していますか？	
② 貴大学において歯科医師国家試験合格率が低迷していると考えていますか？(Y/N)	
②-1(②がYの場合)どのような対策を実施していますか？	
②-2(②がYの場合)令和元年度(第113回)および令和2年度(第114回)歯科医師国家試験合格率の数値目標をそれぞれ記載してください。	
③ 貴大学において留年(修業年限超過)の学生が多くなっていると考えていますか？(Y/N)	
③-1(③がYの場合)留年(修業年限超過)の学生を増やさないために、どのような対策を実施していますか？	
③-2(③がYの場合)令和2年度および令和3年度の留年(修業年限超過)の学生に係る数値目標をそれぞれ記載してください。	

④貴大学において退学の学生が多くなっていると考えていますか？(Y/N)	
④-1(④がYの場合)退学の学生を増やさないために、どのような対策を実施していますか？	
④-2(④がYの場合)令和2年度および令和3年度の退学の学生に係る数値目標をそれぞれ記載してください。	
(5)入学定員(又は募集人員)に対する考え方	
①入学定員(又は募集人員)削減に対する考え方について記載してください。	
(6)編入学に対する考え方	
①編入学に対する考え方について記載してください。	
(7)教育活動の公表	
①情報の公開について、受験生や在学生にとって有益な情報を貴大学のホームページ等にて公表していますか？(Y/N)	
①-1(①がYの場合)具体的な情報公開の内容を記載してください。	
(8)その他	
上記回答以外に、歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者を確保するための特色ある優れた取組を行っている場合は具体的に記載してください。	

【IV. 未来の歯科医療を拓く研究者の養成】

未来の歯科医療を拓く研究者養成のために、特色ある優れた取組を行っている場合は下記に記載してください。

--

【V. その他】

歯学教育の改善・充実に関して、ご意見等ございましたら下記に記載してください。

--

2. 第3回フォローアップ調査(平成26～27年度)における指摘事項の対応状況

(様式2)

大学名:

NO	第3回フォローアップ調査(平成26～27年度)		③改善計画に対する取組と達成状況 (客観的数値も含め達成状況を説明してください)
	①指摘事項	②改善計画等	
1			
2			
3			
4			
5			

NO	第3回フォローアップ調査(平成26~27年度)		③改善計画に対する取組と達成状況 (客観的数値も含め達成状況を説明してください)
	①指摘事項	②改善計画等	
6			
7			

注)「①指摘事項」の欄には第3回フォローアップ調査まとめ(平成28年3月)の別添3「第3回フォローアップ調査における所見」の「第3回フォローアップ調査における指摘事項」を、
「②改善計画等」の欄には本指摘事項を受けて平成28年6月に貴大学から提出していただいた「改善計画書」の「改善計画等」を転記願います。

歯学教育の改善・充実に関する調査研究 協力者会議フォローアップ調査票

大学名	
-----	--

回答者 所属	
回答者 氏名	

連絡担当者 所属	
連絡担当者 氏名	
電話番号	
E-mail	

- ※ 本様式は、自動集計としているので、セルの挿入、削除等の設定変更はしないでください。ただし、ページ設定を整えていただければ、セルの高さを変更しても差し支えありませんが、文字の大きさについては変更しないでください。
- ※ 自由記述欄を改行する場合は、Alt+Enterで改行してください。
- ※ 自由記述欄については、5行程度を目安に記入してください。
- ※ 本調査票以外にも、毎年度実施している歯学部歯学科における入学状況等各種調査結果も本フォローアップに活用いたします。

1. 歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第一次報告等に対する取組内容

【I. 歯科医師として必要な臨床能力の確保】

(1)臨床実習終了時における到達目標の明確化			
①臨床実習の到達目標を明確にしていますか？(Y/N)			
①-1(①がYの場合)臨床実習の到達目標について確認できる関係資料を別途添付してください。			
①-2(①がYの場合)臨床実習の到達目標は、卒後臨床研修の到達目標を踏まえて定めていますか。(Y/N)			
①-3(①-2がYの場合)具体的な取組や工夫があれば記入してください。(自由記述)			
②各科目ごとの成績評価基準を明示していますか？(Y/N)			
②-1(②がYの場合)成績評価基準について確認できる関係資料を別途添付してください。			
(2)臨床能力の評価の実施			
①臨床実習終了時(卒業時)OSCEを実施していますか？(Y/N)			
①-1(①がYの場合)具体的に臨床実習終了時(卒業時)OSCEの内容について記入してください。(自由記述)			
記入例:臨床実習終了直前の6年次の〇月に実施しており、〇ステーションそれぞれ〇分で、医療面接や基本的臨床技能を問う問題を出題している。			
①-2(①がNの場合)、今後の臨床実習終了時(卒業時)OSCEの取組予定について選択してください。(選択肢)			
①-3(①がNの場合)上記選択肢(①-2)を踏まえて、「実施予定」である場合は、導入時期とその内容を、「実施検討中」である場合は、検討状況を、「予定無し」の場合は、その理由を記入してください。(自由記述)			
②OSCE以外に臨床能力の評価を実施していますか？(Y/N)			
②-1(②がYの場合)具体的な評価方法について記入してください。(自由記述)			
③共用試験CBTを進級判定に利用していますか？(Y/N)			
③-1共用試験CBTの合格基準について、下表に合格基準点数を記入してください。なお、進級判定に利用していない場合は、「未利用」と記入してください。			
	素点	IRT	その他
合格基準点数			
③-2 合格基準がその他の場合は、その内容を記入してください。(自由記述)			
④多様な症例の経験を通じて基本的な臨床能力を習得させる等の目的のため、臨床実習において学外の歯科医療機関を活用していますか？(Y/N)			
④-1(④がYの場合)具体的にどのように活用しているのか記入してください。(自由記述)			

(3) 診療参加型臨床実習の充実について

①平成23年度 文部科学省先導的委託事業において作成した診療参加型臨床実習コア・カリキュラム事例集(案)を活用していますか？
(Y/N)

①-1(①がYの場合)具体的な活用例を(①がNの場合)は、活用していない理由を記入してください。(自由記述)

②平成23年度 文部科学省先導的委託事業において作成した診療参加型臨床実習・臨床研修連携手帳(案)(連携ログブック)を活用していますか？(Y/N)

②-1(①がYの場合)具体的な活用例を(①がNの場合)は、活用していない理由を記入してください。(自由記述)

(4) その他

【I. 歯科医師として必要な臨床能力の確保】について、平成21年1月の第1次報告以降に改善した取組と具体的な実績(アウトプット、アウトカム)の概要を記入してください。なお、回答にあたっては、取組年度を明記してください。(自由記述)

上記回答以外に歯科医師として必要な臨床能力を確保するために特色ある優れた取組を行っている場合は、記入してください。(自由記述)

【Ⅱ. 優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育の実施】

(1) 歯学教育全体を通じた体系的な教育課程の編成に当たる専門教員の配置						
① 歯学教育全体を通じた体系的な教育課程の編成に当たる専門の教員を配置していますか？(Y/N)						
①-1(①がYの場合)所属・職名や役割等を記入してください。(自由記述)						
(2) 教員の意識改革や臨床教育能力の開発などのための組織的な取組(ファカルティ・ディベロップメント)の実施						
① 教員の意識改革や臨床教育能力の開発などのための組織的な取組(ファカルティ・ディベロップメント)を実施していますか？(Y/N)						
①-1(①がYの場合)実績について、記入してください。						
	平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	実施回数	のべ参加者数	実施回数	のべ参加者数	実施回数	のべ参加者数
実施状況						
①-2(①がYの場合)FDの内容等を具体的に記入してください。(自由記述)						
(3) 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)の策定						
① 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を明確にしていますか？(Y/N)						
①-1(①がYの場合)教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を記入してください。(自由記述)						
(4) 進級判定基準の策定						
① 進級判定基準を定めていますか？(Y/N)						
①-1(①がYの場合)進級判定基準を記入してください。(自由記述)						
(5) 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)の策定						
① 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を明確にしていますか？(Y/N)						
①-1(①がYの場合)学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を記入してください。(自由記述)						
(6) 今後の歯学教育を取り巻く環境変化を見据えた特色ある教育の体系的な実施						
① 口腔と全身の関わりに関する教育を実施していますか？(Y/N)						
② 高齢者への対応に関する教育を実施していますか？(Y/N)						
③ 全身疾患を有する者への対応に関する教育を実施していますか？(Y/N)						
④ 予防歯学に関する教育を実施していますか？(Y/N)						
⑤ 社会医学(※)に関する教育を実施していますか？(Y/N) ※生活環境と健康との関係を研究する分野(環境医学や公害医学などを含む)に関する教育。						
⑥ 上記①から⑤の他に、医学・医療との連携に関する教育を実施していますか？(Y/N)						

⑦上記①から⑥の中で、特色ある優れた取組を行っている場合は具体的に記入してください。(自由記述)

--

(7)多様な歯科医療ニーズ等に対応した歯科医師養成に関する教育の実施状況

①在宅歯科医療に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
②地域包括ケアの構築に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
③口腔がんに関する教育を実施していますか？(Y/N)	
④スポーツ歯科に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑤歯科法医学に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑥健康長寿社会の実現に関する教育を実施していますか？(Y/N)	
⑦革新的な歯科医療機器の開発・普及等に関する教育を実施していますか？(Y/N)	

①-1 (①がYの場合) 在宅歯科医療に関する教育内容を具体的に記入してください。(自由記述)

--

②-1 (②がYの場合) 地域包括ケアの構築に関する教育内容を具体的に記入してください。(自由記述)

--

⑥-1 (⑥がYの場合) 健康長寿社会の実現に関する教育内容を具体的に記入してください。(自由記述)

--

⑧上記①から⑦の中で、特色ある優れた取組を行っている場合は具体的に記入してください。なお、①-1,②-1,⑥-1に記入した内容が特色ある優れた取組である場合は、例えば、「①-1の内容」等わかるよう記入いただいてもかまいません。(自由記述)

--

(8)その他

【Ⅱ. 優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育の実施】について、平成21年1月の第1次報告以降に改善した取組と具体的な実績(アウトプット、アウトカム)の概要を記入してください。なお、回答にあたっては、取組年度を明記してください。(自由記述)

--

上記(6)、(7)に記入した内容以外に、歯学教育において、特色ある優れた取組があれば具体的に記入してください。(自由記述)

--

【Ⅲ. 歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者の確保】

(1) 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)の策定

① 求める学生像や歯学教育を受けるために必要な水準等を示した入学者受入れ方針(アドミッション・ポリシー)を明確にしていますか？(Y/N)

①-1(①がYの場合)入学者受入れ方針(アドミッション・ポリシー)を記入してください。(自由記述)

② 以下の項目について、大学ホームページ等を通じて、情報公開をしていますか？(Y/N)

	各種方針			学納金		
	入学者受入れ方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針	授業料(入学者選抜区分ごと)	入学金	
公開状況						
	基礎データ					
	入学志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	留年率	国試合格率
公開状況						
	その他教育に関すること					
	診療参加型臨床実習の実際	卒業時に獲得が期待される学習成果	教育の内部質保証の取組			
公開状況						

③ 受験生等が大学ホームページを見たときにわかりやすいところに公開していますか？具体的な掲載箇所について、トップページから記入してください。(自由記述)

(記入例) 【入学者受入れ方針】トップページ>受験生の方へ>入学者受入れ方針 URL:.....

【入学志願者数、受験者数、合格者数、入学者数】トップページ>基礎データ URL:.....

【教育に関する情報】トップページ>受験生の方へ 同ページから教育の特色や各研究室の紹介等へリンク URL:.....

(2) 入学志願者の適性、目的意識、コミュニケーション能力等を見極める実効ある入試の更なる工夫

① 面接の充実に取り組んでいますか？(Y/N)

② 高等学校との連携を強化していますか？(Y/N)

③ ボランティア活動の評価などの取組を行っていますか？(Y/N)

④ 上記に記入した内容以外に、優れた資質能力を有する入学者の確保のための特色ある取組を行っている場合は具体的に記入してください。(自由記述)

(3) 履修指導や学習支援の実施

① 成績不振者へのきめ細かな履修指導や学習支援を実施していますか？(Y/N)

①-1(①がYの場合)具体的な取組について記入してください。(自由記述)

② 歯科医師としての適性等に欠ける者への対応等を実施している場合は、具体的な取組について記入してください。(自由記述)

(4) 入学定員の見直し

① 歯学部歯学科の競争倍率(受験者数/合格者数)及び募集人員に対する定員充足率について記入してください。

年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
競争倍率	記入不要	記入不要	記入不要
定員充足率	記入不要	記入不要	記入不要

①-1 貴大学において入試の選抜機能が低下し優れた入学者の確保が困難な状況となっていると考えていますか？(Y/N)

①-2 (①-1がYの場合) どのような対策を実施していますか？(自由記述)

② 歯科医師国家試験合格率(総数)について記入してください。

年度	106回	105回	104回
歯科医師国家試験合格率	記入不要	記入不要	記入不要
歯科医師国家試験合格率(平均)	記入不要	記入不要	記入不要

②-1 貴大学において歯科医師国家試験合格率が低迷していると考えていますか？(Y/N)

②-2 (②-1がYの場合) どのような対策を実施していますか？(自由記述)

③ 貴大学において学生に対する臨床実習に必要な患者数は十分に確保できていますか？(Y/N)

③-1 (③がYの場合) 必要な患者数を確保するため、どのような取組を実施していますか？(自由記述)

③-2 (③がNの場合) 必要な患者数を確保するため、どのような対策を実施していますか？(自由記述)

③-3 (③がNの場合) 患者数が不足している中で、学生の臨床能力を担保するために、どのような取組を行っていますか。(自由記述)

④ 歯学部歯学科の学生に占める留年・休学者の状況について記入してください。

学年	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
学生数	記入不要	記入不要	記入不要	記入不要	記入不要	記入不要
留年・休学者数	記入不要	記入不要	記入不要	記入不要	記入不要	記入不要
留年・休学者数の割合	記入不要	記入不要	記入不要	記入不要	記入不要	記入不要

④-1 貴大学において留年(修業年限超過)の学生が多くなっていると考えていますか？(Y/N)

④-2 (④-1がYの場合) 留年(修業年限超過)の学生が多くなっている要因をどのように分析していますか？(自由記述)

④-3 (④-1がYの場合) 留年(修業年限超過)の学生を増やさないために、どのような対策を実施していますか？(自由記述)

④-4 (④-1がNの場合) 留年(修業年限超過)の学生を増やさないために、どのような取組を実施していますか？(自由記述)

(5) 入学定員(又は募集人員)に対する考え方

①入学定員(又は募集人員)削減に対する考え方について記入してください。(自由記述)

②①の考え方をとる理由について記入してください。(自由記述)

(6) その他

【Ⅲ. 歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者の確保】について、平成21年1月の第1次報告以降に改善した取組と具体的な実績(アウトプット、アウトカム)の概要を記入してください。なお、回答にあたっては、取組年度を明記してください。(自由記述)

上記に記入した内容以外に、歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者を確保するための特色ある優れた取組を行っている場合は具体的に記入してください。(自由記述)

【IV. 未来の歯科医療を拓く研究者の養成】

	<p>【IV. 未来の歯科医療を拓く研究者の養成】について、平成21年1月の第1次報告以降に改善した取組と具体的な実績(アウトプット、アウトカム)の概要を記入してください。なお、回答にあたっては、取組年度を明記してください。(自由記述)</p>
	<p>未来の歯科医療を拓く研究者養成のために、特色ある優れた取組を行っている場合は下記に記入してください。(自由記述)</p>

【V. その他】

	<p>① I～IVにおけるこれまでの回答以外に、特色ある優れた取組(例えば、国際交流や産学連携等も含む。)を行っている場合は下記に記入してください。(自由記述)</p>
	<p>② 歯学教育の改善・充実に関して、ご意見等ございましたら下記に記入してください。(自由記述)</p>

大学名 _____

2. 平成26年入学者選抜について

(1). 平成26年4月入学者の選抜について(編入学者の選抜以外)

(1) 下表に人数を記載願います。(該当がない場合は「-」(ハイフオン)を記入してください)

入学試験の種類	大学の学力試験の有無※1	①入学定員	②募集定員	③志願者数	④受験者数	⑤合格者数	⑥入学者数
センター試験利用の一般入試	あり						
	なし						
センター試験利用以外の一般入試	あり						
	なし						
推薦入試	あり						
	なし						
AO入試	あり						
	なし						
その他の入試	あり						
	なし						
総数							

(2). 平成25年4月～平成26年3月までに実施した編入学試験

(1) 下表に人数を記載願います。(該当がない場合は「-」(ハイフオン)を記入してください)

編入学年次	大学の学力試験の有無※1	①入学定員	②募集定員	③志願者数	④受験者数	⑤合格者数	⑥入学者数
2年次編入	あり						
	なし						
3年次編入	あり						
	なし						
4年次編入	あり						
	なし						
5年次編入	あり						
	なし						
6年次編入	あり						
	なし						
総数							

(3) 入学者選抜試験の違いにより、進級及び歯科医師国家試験の合格状況について、有意な差(違い)は見られますか？(Y/N)

(4) ((3)がYの場合)このことを踏まえ、入学時選抜試験の見直しを行っていますか？(Y/N)

大学名 _____

3. 臨床実習について

実習期間や内容等については、平成26年度に6年次に在籍した学生に係る状況をご回答ください。

診療参加型臨床実習や自験の定義については、「歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第1次報告(平成21年1月)を踏まえた平成24年度フォローアップ調査まとめ」をご参照願います。

1 平成26年度に6年次に在籍した学生に係る実習の実績等についてお尋ねします。

1) 附属病院内の専用の臨床実習室(m ²)		無い場合は0を記入
2) 附属病院内の専用のユニット数(台)		無い場合は0を記入
3) 臨床実習指導教員数(実習日1日当たり)		小数第二位を四捨五入
4) 平成25年度外来総患者数		附属病院全体
5) 平成25年度外来総新患者数		附属病院全体
6) 平成25年度診療実日数		附属病院全体
7) 平成25年度臨床実習のための患者総数(実数)		
8) 学生1人当たりの患者数		

2 平成26年度に6年次に在籍している学生に係る臨床実習実施期間

開始 年次 月
 終了 年次 月

3 平成26年度に6年次に在籍した学生に係る臨床実習時間についてお尋ねします。
 (コマを設けている場合は、1コマあたりの時間×コマ数で計算してください)

	計	4年次	5年次	6年次
1) 臨床実習時間数				
2) 1)のうち診療参加型臨床実習時間数				
3) 1)のうち見学型臨床実習時間数				
4) 1)のうちその他の臨床実習時間数				

4 平成26年度に6年次に在籍した学生に係る臨床実習等調査

6年次学生数 人

歯学教育モデル・コア・カリキュラム F 臨床実習	見学を行った学生数 (実数)	介助を行った学生数 (実数)	自験を行った学生数(実数)	学生が自験を行った症例の総数	※自験が卒業の必須要件であるか? 必須でない:0 必須である:1
1) F-1 医療面接					
2) F-2-1 バイタルサイン					
3) F-2-2 頭頸部の診察					
4) F-2-3 口唇・口腔内状態の診察					
5) F-3 画像検査					
6) F-4 医療安全・感染予防					
7) F-5 地域医療					
8) F-6 口腔外科系実習					
9) F-7-1 保存修復実習					
10) F-7-2 歯内療法実習					
11) F-7-3 歯周治療実習					
12) F-8-1 クラウンブリッジ実習					
13) F-8-2 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)実習					
14) F-9-1 フッ化物塗布					
15) F-9-2 予防填塞					
16) F-9-3 保護者へのブラッシング指導					
17) F-10-1 成長発育期の口唇・口腔・顎顔面の診察					
18) F-10-2 矯正装置の説明					

※ 歯学教育モデル・コア・カリキュラムを参照の上、記入してください。なお、「学生が自験を行った症例の総数」が特定できない項目があれば、「-」で回答いただいても結構です。

大学名

4. 卒前教育における歯学教育担当教員の配置状況

【単位:人】

区 分		基礎系	臨床系	合計
専任教員	教授			
	准教授			
	講師			
	助教			
	小計			
	助手			
兼任教員	教授			
	准教授			
	講師			
	助教			
	小計			
	助手			